広報
かわかみ
8
2015
No.701

どこまであがるかな

7月20日、白川渡オートキャンプ場で「山と川の夏休み～山・川・海の恵みを未来へ～（源流学的キャンプ講座）」が開催され、ロープワークコンテストが行われました。参加者は全員初心者ながら、最高約4メートルの高さまで縄を上げました。

主な内容

第5次総合計画	2～3
吉野かわかみ社中設立	4
かわかみ言葉特集	10～11
ジャパンサローネ	12
各種職員募集	13
防災訓練について	18

広報かわかみ　平成27年8月10日発行
発　行　奈良県川上村
編　集　川上村広報編集委員会
〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7
TEL. 0746-52-0111
ホームページアドレス　http://www.vill.kawakami.nara.jp
メールアドレス　soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp

川上宣言

一、私たち川上は、都市や平野部の人たちにも、川上の豊かな自然の価値に触れ合ってもらえるような仕組みづくりに励みます。

（川上宣言は全部で5つの項目になります。毎号1項目ずつ掲載していきます。）

「川上村第5次総合計画」始動！（平成27年度～36年度）

都市にはない豊かな暮らしを実現し、定住人口増加をめざします

村づくりの新たな10年がスタート

すでに広報紙面でお知らせのとおり、総合計画策定審議会での検討を経て、平成27年度より第5次総合計画が始まりました。

その内容について、現在、作成中の新総合計画の概要版をみなさんのご家庭にお届けする前に、新総合計画の骨子と、左ページのとおり「地区カルテづくり」の募集についてお知らせします。

川上村で暮らすことの価値とは？

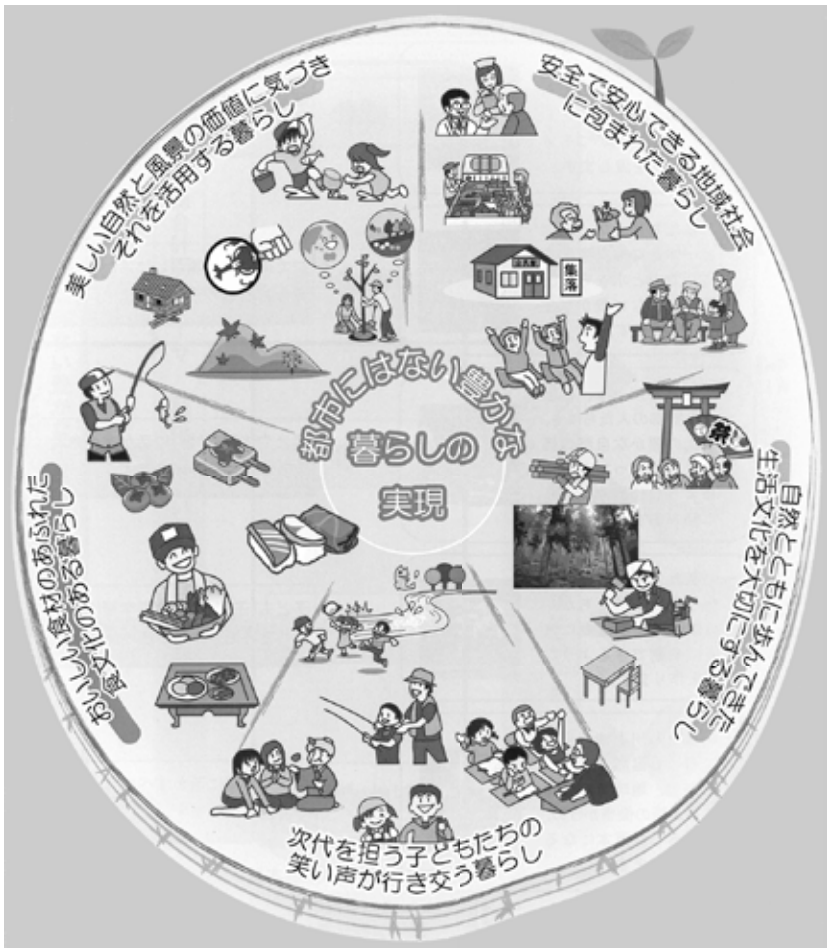
近年、「地方創生」や移住定住者の増加など、地方に対する世の中の価値観が少しずつ高まってきました。ところで、川上村で暮らすことの価値とは何でしょう。

例えばそれは、「田舎らしさ」と「都市へ水を届ける役割」が一体となった暮らしなどがその一つではないでしょうか。このような川上村が本来持っている魅力を「都市にはない豊かな暮らし」と総括し、これを高めていくことを総合計画の骨子としています。

都市にはない豊かな暮らしとは？

川上宣言にある「都市にはない～」について、左のとおりイメージ図にしました。ご覧のとおり、特別に新たなことを考えるのではなく、自然の中で生きてきた川上村本来の資源を磨き、それを活かす暮らしが描かれています。

この実現に向かって、みんなが村づくりを支えあい、共感し、次世代に伝えていく日々を豊かな暮らしと位置づけています。また、下段のようにこの実現に向けた15のプロジェクトも計画しています。



- 環境プラン
  - きれいな水環境づくり
  - 環境づくり
- コミュニティプラン
  - 地区カルテづくり
  - 暮らしの拠点づくり
  - ふる里の味づくり
- 子育てプラン
  - 教育カリキュラムづくり
  - 地域ぐるみのサポートづくり
  - 住まいづくり
- 福祉プラン
  - 福祉の拠点づくり
  - 地域ケア会議づくり
- 産業プラン
  - 林業・木材産業再生
  - 川上産吉野材の循環づくり
  - 元気な地域産業づくり
- 観光プラン
  - 健康と旨処巡り
  - 水源地街道寄り道処案内所づくり

川上村第５次総合計画「15のプロジェクト」のひとつ

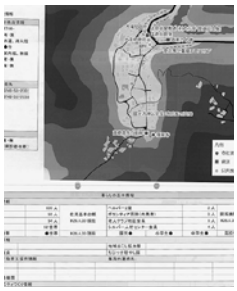
「地区カルテづくり」参画大字を募集中！

「地区カルテ」とは？

各集落の暮らしにまつわる情報や、地域の宝、特色を収集し、記録としてまとめるとともに、その情報を日々の生活の中で役立てていきます。また、この作業を通して、みなさんが集まる機会、語り合う機会、笑顔が集う機会を創ることも大切な目的です。ワイワイ・ガヤガヤと地域の賑わいをいっしょに創りましょう！

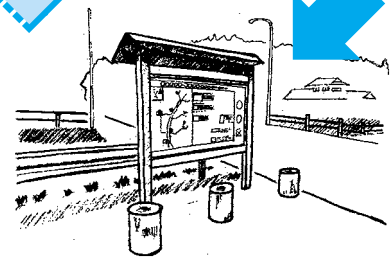
「地区カルテ」で集める情報の例（もちろん地区の特色に応じて変更可）	
◆基本情報	人口・世帯、居住の実態（子育て世帯やお年寄り世帯、ひとり暮らしなど）、地域の人材情報（地域の匠、ヘルパーさんやおてったいさんなど）
◆災害関連	各世帯の緊急時連絡先、危険箇所情報の共有、避難ルート、避難所情報など
◆文化・伝統	郷土料理レシピ、祭りのしくみ、消えていった行事、生活文化、習慣など
◆想い	みなさんで考え確認した、地域の宝物や出来事など

ワイワイと情報収集



カルテにまとめ活用

集うことで新たなアイデアが生まれるかも？



さらに休憩所などで交流掲示板として情報を利用、憩いの場に

地区カルテ説明会にて

地域の暮らし向上と魅力づくりに

川上村の多くの集落では、過疎化が進み、伝統行事や催し事が減ることで、地域の方たちが集い、団らんをする機会が減少しています。そこで、日々の暮らしや災害時に役立つ情報、地域の宝、区民で共有したい情報などをまとめる地区カルテづくりを通して、大字の賑わいづくりに取り組んでみませんか。役場はそのお手伝いをいたします。

集めた情報は、カルテ以外にも、例えば交流掲示板として休憩所などに設置し、何気ない日々の暮らしの中で団らんの場づくりとしても役立ててもらう予定です。

【問い合わせ先】

詳しくは、お電話などでもかまいませんので、是非お気軽にお問合せください。

役場水源地課　℡　52・0111

夏の遊びが盛りだくさん
山と川の夏休み《源流学的キャンプ講座》

7月20日に白川渡オートキャンプ場で「山と川の夏休み～山・川・海の恵みを未来へ～」が開催されました。

昨年11月に、天皇皇后両陛下の御臨席のもと開催された「第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～」その基本理念である「山は川を育み、川は海を育む～山・川・海の自然の恵みを未来に～」を継承し、「山と川の恵みに感謝」する気持ちを持ち続けるため、平成27年度よりポスト「全国豊かな海づくり大会」のイベントとして開催されることとなりました。

アマゴのつかみ取り券が賞品の環境クイズでは皆一所懸命に手を挙げてアピール

当日、会場には26ヵ所のブースが用意され、参加した14市町村が特産品や魅力をアピール。

舞台では環境に関わる学習ショーやクイズ大会、源流塾の辻谷氏と永岡氏による源流学的キャンプ講座が行われ「木炉（もくろ）」の紹介や山で火を取り扱う心得などが説明されました。

午後からは、栗山村長とネイチャーフォトグラファーの内山りゅう氏とのトークショーがあり、水源地の村として自然を守りつつ、都会にはない豊かな暮らしをアピールしていきたい。という村の思いに対し、自然を守ることの大切さを多くの人に理解してもらう努力を、みんなで続けてほしいと励ましの言葉をいただきました。また、ロープワークコンテストでは山仕事で鍛え抜かれた匠の技に、参加者達は苦戦しながらも徐々にコツをつかむと暑さも忘れ夢中になって競い合っていました。

このイベントは来年以降も県内の市町村で開催される予定です。

吉野かわかみ社中を設立
吉野林業の再生へ

村内の林業関係4団体と村が一体となった新しい組織である「吉野かわかみ社中」がスタートしました。

参加している各団体の強みを最大限に発揮して、持続可能な川上産吉野材の一貫供給体制と情報拠点の構築をめざし、森林施業を拡大するための取り組みを進めます。併せて、林内路網の整備や施業技術の開発、新規林業従事者の育成支援を行います。村内での加工流通体制の強化、一体的な情報発信、新しい利用方法の開発や販路開拓などを実施。木材の生産から加工・流通、販売までの全ての行程に対して必要な施策や事業を考え、ワンストップで取り組んで行きます。

左より大辻副代表、下西代表、栗山村長、春増議長

川上産材で作られたテーブルなど

事務所は、林材会館内の正面玄関左にありますので、山づくりや木材利用についてのご相談や、林業振興についてのご提案などがありましたらお気軽にお立ち寄りください。

「頑張ります！栗山です」

「山が動いた」は今はなき某政治家の言葉。今まさにその言葉が現実のこととなり、大きな期待をしています。

「万策は尽きていません。林業の再生をめざします」と約束をしてすでに3年になります。林業の再建はこれしかないという強い思いのもと「持続可能な川上産吉野材の一貫供給体制と情報拠点の構築」を提案し、林業・木材業の皆さんと議論を重ねてきました。そして、このほど議論が合意に至り、6月28日に「吉野かわかみ社中」を設立。その決意を多くの関係者に披露しました。

「険しい道のり」は覚悟の上の決断です。〝日本の木の文化〟〝500年の歴史〟〝素材は一級品〟を信じ、かつ国土の保全や水源かん養などの林業（森林）にかかる役割の大きさを確信し、取り組みを進めて行きます。

村と吉野林業は運命共同体。ともに力を合わせ、その〝一級素材〟として再び輝かせる責任が我々にあると思います。

ふるさと川上村を見直そう

7月15日、川上中学校3年生の生徒が来庁し、村長との意見交流や議場見学を行いました。

栗山村長に質問をする生徒達

議場見学では、生徒達が議員席に座り議会の仕組みなどについて講義を受けました。村長との意見交流では、村の理想や足りないものについてを質問。栗山村長の話す言葉を熱心に書き留めていました。

他にも村をよくするための提案として、山やダム湖の湖面などの景観に映像を投影してはどうかといったユニークな意見も飛び出しました。

おはなしの世界であそんじゃおう♪

7月5日に、やまぶきホール（宮の平）で「第13回おはなしカーニバルin吉野」が開催されました。今年度は、劇団〝クラルテ〟による人形劇「サーカスのライオン」の公演や、ボーカルデュオ〝ミリア〟が美しい歌声を披露してくださいました。

ホールの外では各種団体の方々がさまざまな種類の食べ物を販売。会場に集まった子ども達はとても楽しそうにイベントに参加していました。

ようこそ川上村へ 加太小学校との交流会

7月21日～25日に吉野川（紀の川）の上下流間交流として、川上小学校と加太小学校（和歌山）との交流学習会が行われました。

今年は本村の4～6年生の児童が先に海辺の加太（和歌山市）を訪問し、後から加太の5年生の児童が来村。本村での交流は2日間あり、初日は上多古川でアマゴの掴み取りなどを体験。暑い日差しが照りつける中、透き通った水の流れる清流で交流を深めました。翌日は中学校で木工体験が行われました。

教育かわかみ

第31回　教育長通信

残暑お見舞い申し上げます

立秋を迎えたものの酷暑が続いておりますので、皆様どうぞ十分ご自愛ください。

さて、今回は「**学校評価**」について述べます。

◇目的について

学校評価の最たる目的は学校改善と説明責任です。

①学校が年度始めに教育目標を定め、達成に向けた取り組みの状況や適切さを点検・評価し、結果を**学校改善に生かす。**

②学校が評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に**説明責任を果たす。**

③学校・家庭・地域の**連携協力による学校づくり**を進める。

④結果に応じて、教育委員会が学校の支援や改善措置を行い一定水準の**教育の質を保証しその向上を図る。**

◇方法について

学校評価には次の3つの方法があります。

①自己評価

学校の教職員が自ら行う評価で、最も基本となる評価です。設定した目標や具体的計画等に照らして、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価を行うものです。これには、児童生徒や保護者を対象に行うアンケートも評価資料として活用されます。

②学校関係者評価

自己評価の結果について、保護者や地域住民の代表等が行う評価です。

③第三者評価

学校や教育委員会が必要であると判断した場合に、外部の専門家によって行う評価です。

◇川上村学校関係者評価委員会

川上村の学校教育活動を一層進化・発展させていくために、教育委員会では今年度より学校関係者評価を実施することにしました。

去る7月13日（月）に第1回委員会を持ち、ＰＴＡ会長や地域住民代表に対し、学校長から学校経営方針と児童生徒の状況について説明を行いました。

◇地域住民代表（学校評議員）の紹介

教育委員会では地域住民の意見を学校教育に反映させるために、次の方々に学校評議員を委嘱しました。任期は1年間です。

学校評議員は、学校長の求めに応じて学校運営について意見を述べると共に、学校関係者評価委員を務めます。委員の内、保護者代表（ＰＴＡ会長）が共に男性なので、今回は適任の女性お二人に委嘱しました。

○菊谷恵津子さん（東川）

○玉井　博子さん（上多古）

◇8・9月の学校の動き

	〈小学校〉	〈中学校〉
10（月）	プール指導	
11（火）	県水泳記録会	
15（土）	（かみせ祭り）	
20（木）	全校登校日	
23（日）	（村剣道交流大会）	
26（水）	職員作業	
27（木）		県選手権（卓球）
28（金）		県選手権（卓球）
31（月）		ジュニアオリンピック予選
1（火）	二学期始業式	
2（水）	給食開始	
3（木）	校内作品展開始	
5（土）		郡中音楽会
7（月）	源流体験	
9（水）	運動会小中打合せ会	
12（土）	郡小中科学作品展	
13（日）		「紅葉祭」

劇団（民話芸術座）来る！

☆8月20日（木）10時
☆やまぶきホール
☆演目『花さき山のやまんば』
※小学校の親子文化鑑賞の催しですが、**広く村民のみなさんにもご覧いただくよう準備しています。**

今、学校で

―生徒に豊かな学びを―

本校では、生徒に豊かな学びの機会を提供すべく、地域の方々をゲストティーチャーにお迎えして様々な学習を行っています。一学期には、九人の方々にご協力をいただきました。（下段一覧表参照）

また、平成十二年度から本校で「ことぶき大学」の開講式を行い、生徒が地域の高齢者とふれあう機会を作っていただいています。今年度は、一年生三人が先生役になって、一緒に紙粘土で飾りマグネットを作りました。地域の方々から、褒められ励まされて、生徒たちは、喜びと共に頑張ろうという思いを強くしました。

また、和菓子作りや七宝焼きでは、匠の技を目の当たりにし、その奥深さを肌で感じとることができました。お忙しい中、貴重な時間を割いて丁寧にご指導くださった皆様に感謝申し上げます。

「教えるって難しいなあ…。」

装具を付けての疑似体験
「こんなに大変だとは…。体験して初めて分かることや考えることがいっぱいありました。」

「加熱でどのように発色するのか仕上がりが楽しみです。」

「小さな和菓子に日本の美意識がいっぱい詰まっています。」

【一学期ゲストティーチャー授業一覧】

対　象	学 習 内 容	講　師（敬称略）	実施日	教科等
全校生徒	ストレスマネジメント教室	スクールカウンセラー　池田　光芳	5/28	特活
全校生徒	食育講話	川上小学校　阪上賀津子	7/3	特活
全校生徒	租税教室	奈良税務署　藤田　妙	7/6	社会
全校生徒	俳句教室（句会）	川上句会選者　吉沢　紀子	7/15	国語
1・2年生	剣道（12時間）	村教育委員会　上垣　功	5・6月	保体
1年生	福祉体験	村福祉協議会　上村　克己	6/18	総合
2年生	職業講話	近畿労働金庫　中川　忠晃	6/2	総合
3年生	和菓子作り	和菓子司西善　西林　宗幸	6/8	美術
ものづくりクラブ	七宝焼	匠の聚　森野　政順	6/3・10	クラブ

―剣道を通して礼節を学ぶ―

中学校の保健体育の授業では、一、二年生で武道（柔道・剣道・相撲から一種目選択）が必修になっており、本校では、剣道の授業を行っています。ほとんどの学校は竹刀だけの授業ですが、本校では、村教委のご配慮で、剣道具を着装して授業を行っています。また、本校の教員と一緒に上垣功先生にご指導をいただいています。

初めて竹刀を手にする一年生も十二時間の授業の終わりには、簡単な試合ができるまでになりました。また、授業では、技（技能）だけでなく、相手を尊重し合うための作法、所作を学びます。

さらに、上垣先生は絶えず「挨拶の励行」「足下を揃える」「約束を守る」ことの大切さを生徒に伝えてくださっていました。

生徒たちが、剣道の授業を通して学んだことを日常生活に生かしてくれるよう期待しています。

「剣道の歴史や礼儀についても学びました。」

笑顔キラキラ やまぶき保育園

どろんこ・プール遊び大好き!!

どろんこ・プール遊びは、子ども達の成長にとって大切な遊びのひとつです。

今年は雨の日が多いので、天気のいい日は「今日は、どろんこできる?」、「プール入れるかな~?」と朝からワクワクして登園してくる子ども達。どろんこ遊びの時は、服を着替えて裸足になり泥だらけになりながら遊んでいます。

砂場では、役割を分担して、「地球に穴があくまで深く掘ろう~。」とダムづくりをする子ども達。川ではなくダムをつくるところが、村の子ども達にとってダムは身近な存在であることが感じられます。

もっと深く掘ってみよう~!

プールって気持ちいい~

夏になると園庭に大きなプールを設置しています。泳げるようになるために、顔つけやワニさん歩き、蹴伸びなどにチャレンジ。初めは、「こわい~」と言ってできなかった子どもも慣れてくると「みてみて!ちょっと顔つけれた!」と満面の笑みではしゃいでいます。子ども達の「やりたい!」「がんばる!」という気持ちを大切にしながら、夏の遊びを満喫できたらと思います。

こんにちは保健師です

夏の暑い日が続くと、熱中症、脳こうそく、夏バテ…と様々な体の不調が起こりやすくなります。引き続き、水やお茶などの水分をこまめにとるように心がけましょう!

体の不調に加えて、食中毒が発生しやすい季節でもあり、家庭でも発生する危険性が潜んでいます。でも、食中毒はちょっとした心がけで防ぐことができます。

食中毒予防の3原則は、食中毒の細菌やウイルスを「**つけない**」「**ふやさない**」「**やっつける**」です!

①つけない

食品に触れる前に必ず石けんで手洗いをしましょう。肉や魚を触った後も手洗いを!加熱せずに食べるものを最初に取り扱うのも一つの方法です。できれば包丁やまな板は、食品ごとにこまめに洗いましょう。

②ふやさない

食べ物に付着した菌を増やさないためには、低温で保存することが重要です!吉スト号などでお買いものした後は、まっすぐ家に帰り、まず冷蔵庫に向かいましょう。

また、冷蔵庫内の温度が上がらないようにすることも大事です。開け閉めの回数を少なくする、開けている時間を短くする、詰め込みすぎないなどが考えられます。

③やっつける

食品の中心まで十分に火を通しましょう。目安は中心部の温度が75℃で1分以上加熱することです。

使用後の調理器具などは洗剤でよく洗ってから熱湯をかけて殺菌しましょう。

各家庭ですでに様々な工夫をされていると思いますが、していることをこの機会に振り返ってみてもいいかもしれません。

食品が少しでも「おかしいな」と感じたら、勇気をもって捨てましょう。お腹や下痢といった症状があった場合、早めに医師の診察を受けましょう。

かわかもんがゆく。
―地域おこし協力隊活動記―

近くで過ごす、ある休日

寺尾区では、有志で小さな食事会を行うようになりました。きっかけは、昨年、公民館の大掃除をした時のこと。「どうせ古くなるなら、公民館もっと使わないとね」と、季節に一回程度のペースで、小さな食事会が始まりました。

野菜はやまいき市で調達。栄養バランスも考えています

たこ焼きに始まり、バーベキュー、柿の葉寿司作り・春は鉄板焼きに餃子。先月は、夏らしく具だくさんなそうめんなど季節のメニューを皆で作って食べます。有志で企画運営し、準備もできる人だけ。決して無理せず、来たい人や都合のつく人が集まっています。

皆が集まると、おしゃべりに花が咲きます

食事会を通して知ったのは、昔の習慣や味。「〝もだき〟言うて、段取り完璧なこわいおばちゃんがおってなぁ～。私らはそれで覚えたんやで。」と準備の時に聞かせてくれます。「これ炊いてきたで～」と、郷土料理を作って差し入れてくれる人もいます。食卓を囲むと飛び出す、昔の中学校の話。小さな食事会だからこそ出てくる他愛もない話の中にたくさんの発見があります。

小さな集落ならではの、小さな食事会。皆で作って皆で食べて。近所でゆるくて楽しい休日を過ごしています。

（早稲田　緑）

清流

川上良いとこ、一度はおいで。

本当に川上村は、私に合った村です。私は県外から、この村に移り住んでいます。

ふた昔も前になりますが、夫は24歳で生家を出て、サラリーマンになりました。そして、長かった勤務を終え、再び生家に戻って来ました。実はその時、私はいやいやついて来たのです。

何年たっても、なかなか地区の人とも、田舎暮らしにも馴染めず、苦労しました。しかし、住めば都と言いますが、次第に打ち解けることができ、親しくなることが出来ました。

数年前、夫を見送りました。それから、少しずつ親しい方が増え、お友達もたくさん出来ました。少しばかり畑を借り、野菜作りを始めましたが、畑がこんなに楽しいということにやっと気付きました。野菜の世話はもちろん、次は何を作ろうかな、と夢が膨らみます。野菜の専門誌を読んだり、近所の人に教えてもらっています。これも認知症予防になるんでしょうか。一人暮らしですので、新聞やTVのニュースはしっかり見るように、毎日努力しています。

街の親友達も、よく遊びに来て、川上村は、水、空気、野菜がとても美味しく、老後に住むのに素敵な所ね、と褒めてくれます。

実際に、福祉のケアも良く、役場等のイベントも豊富です。時間を見つけては参加しています。地域おこし協力隊の方々からは、若さと元気を貰っています。

また、日本全体を見ると過疎地は高齢化率が高く、支援も広がっているようですが、川上村は自然がいっぱい、四季の変化も多様で魅力的だと思います。私があと数十年若かったら、色々な夢を持っているのに、残念ながら年齢には勝てません。今、一番困っていることは、交通の不便なことです。病院に行ったり、買い物に行くとき、痛切に思います。

村には水量豊富な美しい川があり、緑いっぱいの山々があります。孫達が来ると『水を大切に、きれいに使ってね』と言い聞かせています。この村がずーっと、心豊かな素晴らしい所でありますように願っています。

H・O子

かわかみことば特集

各地区の方言を紹介するにゃ～

伯母谷編

山　言　葉

- つけ　　山で片付けをする
- さしまわし　立ホを測って石数を出す
- 目どおり　　目の高さでホのまわりを測る

最近テレビで全国各地の方言が取り上げられ、ドラマなどでも昔なつかしい言葉が語られています。もちろん私達の村でも、昔の言葉で話されている方がいます。

広報編集委員会では、温もりのある方言を大事にし、先人から伝えられた文化を後世に残すため、各大字を訪問し、取材をさせていただきました。

隣近所の貴重な語り文化としていつまでも残される事を願い、今後も各大字を取材させていただきます。

（尚、昔から伝わる方言の性質上、そのまま掲載致しました）

地名、民族信仰

- ほうでんさん　橘将監公のこと

※毎月10月１日に榊をお供えし、おまつりをする

方言クイズ

何のことかわかるかな？

- ひまかかる
- ほうでんさん

※答えは特集の中にあります

家庭と生活

O おとちゃん	おとうさん
O おかちゃん	おかあさん
O ○○坊	○○さん、○○くん
O ながたん	包丁
O てんが	小さい鍬（草引き用）
O とんが	一本歯のくわ
O くくり	野うさぎ鹿などの罠
O ひゆうき竹	竹で出来た火をおこす道具
O ひまかかる	手間（時間）がかかること
O 前だれ	前掛け
O するび	マッチ

他にも…

O なるこ	缶をぶらさげて鳴らす
O はび	まむし
O おごろもち	もぐら
O くそず	かめ虫

※他にもさまざまな言葉を伺いましたが、他の地区と被るものや一部の言葉は除かせていただきました。聞き取りをしていくうちに、同じ村の中でも個性のある言葉があるんだなと感心しました。
ご協力いただいた語り部の皆さん、本当にありがとうございました。　広報編集委員会

語り部さん（敬称略）

上田一郎・山本逸朗
泉谷吉昭・中西眞佐江
上田祐平・山本規英子
水本　茂・大谷新一郎

訂正とお詫び

先月の語り部さんの中で中平寛司さんの御名前を誤って完司と掲載してしまいました。訂正するとともにお詫び申し上げます。

食べ物

O おかいさん	茶粥
O おみー	雑炊
O よまし	麦を炊いたもの
O かぶちゃ	かぼちゃ

日常会話

O やれきょうたよ	たいへんビックリした
O ほんでよ	それからな
O そやにゃあ	そうですね
O きけたよー	疲れたよー
O きいたくらいなら	聞いてみたら
O そやけど	そうですけど
O ぎょうさん	沢山
O ぎっちり	きっちり
O しゃあない	しかたがない
O みょうな	変な
O ねぶる	なめる
O よう行きつかん	目的地に辿り着けない
O ほんだら	そしたら
O 火をいこす	火をおこす
O ちゅうて	言うて
O よさり	夜
O よさがた	夕方
O しゃく	急な腹痛
O ようきたの	よくきてくれました

ジャパン サローネ in ミラノ

〝感動と感激は一本の電話から〟

その電話は突然でした。東京の総理大臣官邸の国際広報室から「イタリア・ミラノで開催中の国際博覧会で日本の吉野地域と吉野林業、水源地の村づくりをPRしてはどうか」と示唆を受けました。

田舎もんだから、と少し考える私（川上村）に、「住民とともに水源地の村づくりに取り組む誇りと吉野杉の素材はまさしく一流であり、国内外へ発信する良い機会ですよ」とポン！と背中を押してくれた官邸の皆さんに感謝。

展示品について説明をする春増議長

〝参加して感じたこと〟

商談会には村より栗山村長と春増議長、竹内主任が参加し、割り箸や枡、木芸品など村内の事業者さんの逸品を持ち込みました。

結果は、即商談に結びつくものではありませんでしたが、想像以上に、訪れる多くの方々の目にとまり、日本と木の文化に関心と興味を持っていただきました。

「村」と「村の逸品」を売り込む初体験の世界戦でしたが、食品や酒造の国内一流企業と肩を並べて出展したことは、川上村のやる気と本気を世界に（国内にも）発信できました。

〝つながりの大切さ〟

もとより、今回総理官邸から「お声がけ」いただいたのも、人（今回は村職員）の絆の深さから来たものです。あらためて、仕事とは必要な作業とともに、人のつながりをつくることの大切さが実証されたものです。

「主役」である住民の皆さんと行政（役場）との協働も、こうした絆や、つながりから生まれるものと再認識しました。

たった2日間ではありましたが、過疎の小さな村に、新たな勇気と元気をいただいたものとなりました。

今回の商談会出展にあたり、あらためて関係者に感謝いたします。

栗山村長自ら川上村をＰＲ

※ジャパン サローネ：日本企業や団体と、イタリア輸入業者等との商談会

雨量通行規制時のやまぶきバスの運行

今年は7月末の時点ですでに台風12号が発生するなど例年より多くの台風が発生しています。

やまぶきバスは雨量規制が発令されると次のように運行を見合わせる場合があります。

《大迫ダム～上北山間で規制》

通常どおりの運行を行います。

《大迫ダム～入之波間で規制》

上市駅～大迫ダムまでの間を時間通り運行します。入之波へは規制が解除されるまで運行を見合わせます。

《迫～伯母谷（上北方面）で規制》

上市駅～杉の湯までの間を時間通り運行します。ホテル杉の湯より東部への運行は規制解除されるまで運行を見合わせます。

詳しくは左記まで御連絡ください。

【問い合わせ先】
総務税務課　TEL　52・0111

自衛官募集のご案内

募集種目
◆自衛官候補生　◆一般曹候補生
◆海上・航空自衛隊航空学生
○応募資格
平成28年４月１日現在、18歳以上27歳未満の男女
（海上・航空自衛隊のみ21歳まで）
○試験日（自衛官候補生）
平成27年９月16日・17日（男子）
10月３日・４日（男子）
平成27年９月27日（女子）
○試験日（一般曹候補生）
平成27年９月19日（男女）
○試験日（海上・航空自衛隊航空学生）
平成27年９月23日（男女）
※その他詳細は下記にお問い合わせください。
【問い合わせ先】
自衛隊奈良地方協力本部
五條地域事務所　℡　０７４７－２２－３７８９

「在宅介護者の集い」参加者募集

と　き　平成27年８月26日（水）
13時～15時まで
ところ　総合センター研修室
対象者　家庭でご家族を介護している方
参加費　無　料
日頃の介護で不安をかかえている方、お悩みの方是非ご参加ください。みんなでお茶を飲みながらリフレッシュしませんか。
参加を希望される方は８月19日（水）までに社会福祉協議会にお申し込みください。
【お問い合わせ先】
川上村社会福祉協議会　℡　５２－０２９４

のびっ子広場

９月３日㈭「ヨガでリフレッシュ」（納田先生）
９月14日㈪　ニコニコ☺マザールーム
時　間　10時00分～11時30分
持ち物　お茶・タオルなど
【問い合わせ先】
やまぶき保育園　℡　５２－００１９
役場住民福祉課　℡　５２－０１１１

川上村役場職員を募集します

詳しくは広報７月号、ホームページをご覧ください。
募集職種　一般事務職　２名
受験資格
・昭和51年４月２日から平成10年４月１日までに生まれた人で、地方公務員法第16条に規定する欠格事項に該当しない人
・高等学校卒業程度以上の学力を有する人
・原則として、採用後川上村内に居住できる方
受付期間　平成27年８月21日（金）まで
※土・日・祝日は受付できません
試験期日・試験会場・試　験科目

	第１次試験	第２次試験
試験期日	９月20日(日)	10月中旬
試験会場	川上村役場	川上村役場
試験科目	一般教養試験 事務適性検査	面　接

合格発表　平成27年10月下旬
採 用 日　平成28年４月１日
【問い合わせ先】
川上村役場総務税務課（人事係）　℡　52-0111

ホテル杉の湯　従業員募集

募集人数　正社員　各１名ずつ
就業場所　湯盛温泉ホテル杉の湯
募集職種　①フロント兼事務所勤務
②調理師見習い
応募資格　平成28年３月卒業見込みの新規卒業者
提出書類　履歴書（写真貼付）
卒業（見込み）証明書
受付期間　平成27年９月５日以降
選考日時　平成27年９月16日以降
選考内容　個人面接・筆記試験
採 用 日　平成28年４月１日
申 込 先
〒639-3553 川上村大字迫695
一般財団法人グリーンパークかわかみ
備　考
応募前職場見学も随時行っておりますので、見学を希望される方は下記までお問い合わせください。
【問い合わせ先】
一般財団法人グリーンパークかわかみ　事務局
℡　０７４６－５２－０３３３

～樹と水と人の共生・川上村の情報～

かわかみ満足ガイド

匠　の　聚

◆川上村発行の地域振興券が使えます！◆

●「匠の聚フォトコンテスト作品募集！」

川上村の情景～あなたが捉える川上村の魅力～と題し、心動かす作品を広く募集いたします。

自然風景や動・植物などのネーチャーフォト部門、また人々の暮らしや催事、文化や歴史など時代や社会が写し出されているドキュメント部門があり、1人何点でもご応募が可能です。

写真をとおして川上村の魅力を大勢の方にお届けしたいと考えています。どしどしご応募ください。

締　切　平成27年９月29日（火）
発　表　平成27年10月初旬～中旬
表　彰　平成27年10月24日（土）予定

※応募用紙（自作可）に必要事項を明記の上、作品裏面に貼付して匠の聚までご応募ください。応募票は匠の聚ホームページからダウンロードすることも可能です。

●匠と創る！文化講座「手織りの愉しみ」受講生募集！　講師／栗生直子

足踏み本格織り機を使って、ストールやテーブルセンター、マフラーなどをつくります。

と　き　平成27年９月３日（木）・５日（土）・６日（日）
10日（木）・12日（土）
●各日匠の聚アトリエで開催！

【半日コース】①10：00～12：00　②13：00～15：00
受講料3,000円（税込）＋材料費

【１日コース】10：00～15：00
受講料6,000円（税込）＋材料費

※お申し込みはご希望のコースを２日前までに匠の聚までご連絡ください。目安として、半日でテーブルセンターや小さなタペストリー、1日でストールやマフラーなどが織れます。

■お申込み・お問合せ■

《匠　の　聚　℡０７４６－５３－２３８１》

森と水の源流館

■「ボランティア募集！」

森と水の源流館の行事をお手伝いいただける方を募集しています。

川上村が好きな人に出会いたい、川上村の森のことを一緒に学びながら伝えたいという方は、お気軽にお問い合わせください。

《森と水の源流館　℡　０７４６－５２－０８８８》

山の学校　達っちゃんクラブ

★白倉山ハイキング

心地よい風と共に秋の始まりを楽しみながら、白倉山の頂上を目指してハイキング。

と　き　平成27年９月26日（土）
定　員　30名　高学年以上
参加費　大人1,500円　小人・幼児500円
コース　西河から登り、東川の匠の聚へ下りるルートです。全行程3時間程度（約4.5㎞）
申込み　住所・氏名・電話番号・参加人数を電話・はがき・FAX・メールいずれかでお申込みください。

※応募締切８月26日まで！

締切後も参加可能な場合もございますのでお問い合せください。

《一般財団法人グリーンパークかわかみ事務局
℡　０７４６－５２－０３３３》

ふるさと市開催日

【８月】11日・12日・13日・14日・15日・16日・23日・30日
【９月】６日・13日・19日・20日・21日・22日・23日・27日

《役場地域振興課　℡　０７４６－５２－０１１１》

「川上村第13回剣道交流大会」開催

と　き　平成27年８月23日（日）**開会式**　８時30分
ところ　川上村武道場（北和田・旧東小学校体育館）

【問い合わせ先】教育委員会事務局　℡　52-0144

約550名の少年剣士の参加を得て、川上村第13回剣道交流大会が開催されます。少年たちが剣道の特性を通して、楽しく素晴らしい交流を深めてもらいたいと願っています。

図書館だより

今月のオススメ　テーマ「暑い夏を涼しく」

夏といえばお馴染みの怪談。蒸し暑い夜も涼める怖〜い本をご紹介します。

図書館では、ホラー、ミステリー、サスペンス他、色々とオススメを揃えておりますので、是非ご利用ください。

「山怪－山人が語る不思議な話－」

田中　康弘 著／山と渓谷社

各地の猟師や、山で働き暮らす人びと実際に遭遇した奇妙な体験を紹介。

狐火があふれる地、マタギの臨死体験、山塊に蠢(うごめ)くもの…。さまざまな形で現れ、老若男女を脅かす何か。

吉野の山の話もあります。思いがけず身近な場所の登場に、背筋がぞくりとするかも。

「残穢（ざんえ）」

小野不由美 著／新潮社

作家である「私」の元には、昔、本のあとがきで募集していた「怖い話」が今でも時折届く。

ある日届いた手紙の内容に既視感(きしかん)を覚える私。数年前、同じようなエピソードの手紙が同じマンションの別室の住人から届いていた。

手紙の主に連絡を取り、マンションについて調べるうち、浮き上がってくる「土地」を巡る因縁。伝染し、拡大する怪異。その先に待ちうけるものとは…？

図書館カレンダー

●色の日が休館日

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

川上村郷土資料の紹介

「ふる里の味を訪ねて －奈良県吉野郡川上村から－」

奈良県川上村教育委員会

月ごと、季節ごとの川上村の年中行事。その時々に食されてきた行事食や、家庭料理の作り方を多数掲載。

作り方のコツから、薬草の種類と利用法、川上村の言い伝えまで。盛りだくさんの内容です。

行事と料理は切り離せないもの。料理を通して川上村の暮らしが見えてくるような一冊となっています。

◎新しく入った本　図書名／著者名／出版社名

【一般書】

いけるね！シカ肉おいしいレシピ60　松井　賢一 著　／農山漁村文化協会

一〇三歳になってわかったこと－人生は一人でも面白い－　篠田　桃紅 著　／幻冬舎

デザインで地域を元気にする、プロジェクトと仕掛人たち　／パイインターナショナル

【児童書】

おれがあいつであいつがおれで（角川つばさ文庫　Bや3－2）　山中　恒 作／杉基イクラ 絵　／KADOKAWA

小学生からはじめる伝える力が身につく本 －プレゼンテーション－　山崎　紅 著／日経ＢＰ社

わかるかな？　ふじわらこういち　しゃしん・ぶん　／新日本出版社

ゆるかる読書会

大人対象の読書会です。毎回テーマにそってなごやかに話をしています。

８月のテーマは「数字の出てくる本」

自分のオススメ本でもＯＫです！お気軽にご参加ください。

８月27日（木）　時間：19：00〜　場所：図書館

【問い合わせ先】川上村立図書館　℡　０７４６－５２－０１４４

森と水の源流館だより

August, 2015　vol.152

TEL 52-0888　FAX 52-0388（水曜休館）

残しておきたい川上村の山言葉　其の六十八

「ほーほい」「おーい」…始めと終わりの合図、掛け声。

※川上村の方言や意味、使い方などについてのご意見をお待ちしています。

7月の水源地の森

7月に予定していた水源地の森ツアーは季節外れの台風の影響からか、梅雨の雨量もいつもより多く、明神谷の水量があまりにも多かったため断念しました。いつも思うのは、参加者のあることだからできるだけ実施したいという思いです。中止を判断するのはいつも気が重いのですが、客観的に見れば、参加者の安全のためには止める勇気も必要です。安全が一番大切なのです。

7月の水源地の森

中止を判断した下見のその日、しっとり濡れて、おだやかにやわらかい陽光を浴びる森の木々の間を、荒ぶる龍のように音を立てて、岩を砕かんと、次々とぶつかっては流れてゆく源流の水の流れは、私に太刀打ちできないなと思わせました。こうなれば、逆らうことはできません。近づかずに傍から眺めているほかありません。

野良のイモリ

そうしていると、足下に1匹のイモリが歩いています。春先に水たまりに集まって産卵相手を探しに群れていたもののイメージと違って、まるで野良の一匹狼のようです。「あぁ、彼らは一つの目的を果たし、次の目的に向かって淡々と力をためているのだな。」とこれまで見ていた時間軸、空間軸が動いていたことに気づかされました。ちいさな生き物でも目的を果たして、次の段階に進んでいます。毎年やっていることかもしれませんが、ちいさな彼らにとってはとても大きなことをなしているのでしょう。

タマゴタケ

森の入口には、白い卵から赤い卵が生まれたようなかわいいキノコ、タマゴタケがにょっきりと顔を出して歓迎のあいさつ。毒々しい色ですが、こう見えて食べられるキノコ。見た目では判断できないのがこの世の中でもあります。

みんなで考えよう！川上村の環境

その62　～川上村の環境保全の取り組みをＰＲ～

☆源流学的キャンプ講座で 水源地の環境保全を考える

7月20日（祝・月）、村が定める「環境基本計画」の推進事業として、「源流学的キャンプ講座」が白川渡オートキャンプ場にて実施されました。この中で、催しの趣旨である水源地域の環境保全について考える企画として、「エコを考えるごみ収集コーナー」を設置。

ゴミの分別回収の呼びかけと、パネル展示で川上村の環境保全の取り組みを紹介しました。当日は、ポスト「全国豊かな海づくり大会」との合同開催ということもあり、イベント会場はキャンプ客をはじめ多くの来訪者で大変賑わい、たくさんの方に啓発活動を行うことができました。

イベント会場のゴミの分別はもちろん、近年、問題となっている川遊び客のマナーアップについても呼びかけを行いました。

環境基本条例や基本計画など、川上村が環境保全を政策としてきちんと取り組んでいることを紹介しました。

川上村では、「下流にはいつもきれいな水を流したい！」という思いから、「川上宣言」を掲げて環境を大切にする活動に取り組んできました。

川をきれいにする具体例では、村と住民が協働で取り組んでいる合併処理浄化槽の設置や浄化槽管理者に義務付けられている「保守点検・清掃・法定検査」の実施、油や野菜くずの除去、台所洗剤や入浴剤の選択、水質浄化に効果のある素材の活用など各家庭で実践している取り組みなどを紹介し、「今日からできることからひとつでも実践していきましょう！」と来訪者に呼びかけました。

【問い合わせ先】役場水源地課　℡ ０７４６－５２－０１１１

～川上村既存木造住宅耐震診断支援事業のご案内～

耐震診断

を受けてみませんか？

あなたの住まいは大丈夫？

地震から大切な命を守るために…

多くの犠牲者を出した平成７年の阪神・淡路大震災における犠牲者の９割近くが**住宅の倒壊による圧死・窒息死**によるものでした。

地震から家族と財産を守るには、強いわが家にすることが不可欠で、その第一歩が**わが家の健康診断**ともいえる「**耐震診断**」です。

川上村では、「**耐震診断**」にかかる費用の全額を助成する事業を行っています。

この機会に「**耐震診断**」を受けてみてはいかがでしょうか。

１．助成の対象となる住宅（次のすべてを満たすものが対象となります）

・村が定める区域内にある木造住宅のうち、昭和56年５月31日以前に着工されたもの

・延床面積が250㎡以下でかつ、階数が２以下のもの（地階を除く）

２．助成額

・１つの対象住宅にかかる費用の全額を村が助成します。

３．その他（留意事項）

・耐震診断を受ける前に、申込手続きをしていただくことが必要です。

・上記のほかにも各種要件がありますので、役場地域振興課までお問い合わせください。

《受付期間　平成27年９月１日（火）～９月30日（水）》

【問い合わせ・申し込み先】役場地域振興課　℡　５２－０１１１　FAX ５２－０３４５

川上村防災訓練の実施について

今年も災害発生を想定した防災訓練（避難訓練）を実施します。

災害は、いつ、どこで発生するか分かりません。災害時には地域住民の協力が大切です。

もし、災害が起こってもあわてず行動するためには繰り返し訓練を行うことが大事ですので、ぜひご参加の程よろしくお願いします。

と　き：平成27年９月12日（土）午前８：30～

ところ：各地区避難所

内　容：避難訓練、避難所開設訓練等

非常持出袋はありますか？

防災無線を確認してください

警報発令時や緊急地震速報、村からの重要な連絡等をお知らせする為に各家庭に防災無線を設置しております。

本格的な台風シーズンを迎える前に、放送が聞こえるか、電池は入っているか等確認していただくようお願いします。

また、放送が聞こえない、機械の調子が悪い場合は役場までご連絡下さい。

【問い合わせ先】役場総務税務課　℡　５２－０１１１

防災無線はちゃんと聞こえていますか？

俳句

川上俳句会

吉沢紀子選

特選　朽木上げ蟻の世界をいとほしむ　住川　準典（武　木）

［評］「朽木上げ」と作者自身の行為が一句の中に入り、句に深みが増しました。「蟻の世界のいとおしみ」には三尺の童の頃の無垢な好奇心が溢れています。

特選　神籬に赤翡翠の響きあり　望月　彰美（迫）

［評］赤しょうびんは梅雨時に鳴くので水恋鳥ともいう。鳴き声がなんともよいので水源の村できくことが出来れば感動すること一入でしょう。

特選　香水はおしゃれの仕上げ老いまじく　上田　一郎（伯母谷）

［評］「まじく」は打消の意志を表す語です。「決して老いないつもりだ。」と作者自身に言いきかせているのです。又「まじ」で言い切らずに「まじく」と言いさしにしたので余韻が醸し出され、よいところ。

佳作

梅雨寒や岩陰に鯉かたまりて　古瀬　和子（大　滝）
明易し奥嶺は靄に包まれて　辻井　清子（大　滝）
紫蘇つける壺の塩漬梅を見て　上田　明子（北塩谷）
なでしこの揺るる背の荷草刈り女　新子谷生子（北和田）
梅雨晴れや白寿の人の野辺送り　松本　全代（大　滝）

入選

花南天白き花房近寄れば　枡　恭子（東　川）
上流を向きて川鵜の中州かな　前田　景子（大　滝）
軒下の蟻の行列たどりけり　竹田サダ子（大　滝）

（川上村人権・同和問題啓発活動推進本部）

ケーブルテレビ11chで放映中の「体操」の時間変更について

現在、朝8時から放映中の「体操」の時間が、8月17日より朝8時20分～に変更します。内容は、8月に「タオル体操」、9月に「らくらく健康体操（首・肩）」です。

平成27年度 救命講習会

救命講習の普及を推進するため、講習会を開催します。

救命講習等日程

開催日時	講習内容	開催場所	締切り
9月13日(日) 9時～12時	普通救命講習Ⅰ（修了証交付）	吉野消防署	9月6日(日)
10月10日(土) 9時～18時	上級救命講習（修了証交付）	大淀消防署	10月3日(土)
11月7日(土) 9時～10時30分	実技救命講習（修了証交付）	大淀消防署	10月31日(土)
12月5日(土) 9時～12時	応急手当普及員再講習（認定証交付）	大淀消防署	11月28日(土)

（講習内容説明）

普通救命講習：心肺蘇生法やAEDの使い方です。

上級救命講習：普通救命講習に加えて、骨折、やけど、けが人の搬送方法などを学んでいただきます。

実技救命講習：心肺蘇生法やAEDの使い方を短時間で学んでいただきます。
※入門コースの参加証（受講から1年未満）が必要です。

応急手当普及員再講習：応急手当普及員の資格取得後の認定日から3年毎に再講習が必要です。テキストは受講者側で準備お願い致します。

詳しいお問い合わせは、吉野消防署（救急課）まで
TEL：0746（32）1011

地域振興券の利用は11月16日まで！

引き換えがまだの方は、お早めにお済ませください。

【問い合わせ先】役場定住促進課　TEL 52・0111

引き換えは
お早めに♪

お誕生日おめでとう！

「すくすく元気に大きく育ってね」

広報の発行月に誕生日を迎える小さな子どもたちを紹介していきます。
子どもたちは村の宝です。皆さん大事に見守っていきましょう。（敬称略）
※年齢表記は今月の誕生日で迎える年齢を記載しています。

中平（なかひら）　静空（しずく）（宮の平）
（平成24年８月15日生まれ・３歳）

笑顔が可愛く、いつも元気なしーちゃん。
我が家のアイドルです♪

梅本（うめもと）　悠愛（ゆめ）（高　原）
（平成26年８月12日生まれ・１歳）

いつもニッコリ、元気なゆめちゃん☆たくさんの人から愛される人になってください。
生まれて来てくれて、本当にありがとう。

HAPPY BIRTHDAY

村づくり塾

とき　8月25日　19時から
ところ　役場第一会議室
【問い合わせ先】役場定住促進課　TEL 52・0111

かわかみの草花

アカマツ（赤松）

日本を代表する樹木の一つで、自然分布は本州・四国・九州・朝鮮半島・中国東北部。木材は梁、桁、床板などに用いられる。

雌　花

雄　花

おくやみ（敬称略）

森口　延（上多古）
7月6日　92歳

鶴野　由行（中　奥）
7月14日　89歳

社会福祉協議会へ次の方から善意が寄せられました（敬称略）

10万円　山口　龍夫（白川渡）
亡き母が大変お世話になり、ありがとうございました。

一般寄附金を次の方からいただきました（敬称略）

6、596、880円
大西　廣長（宮の平）
6月20日

村の人口

7月31日現在

人口総数	1,560人	（±0人）
男	743人	（－3人）
女	817人	（＋3人）
世帯数	848世帯	（＋2世帯）

7月中の異動

転　入	6人	転　出	4人
出　生	0人	死　亡	2人

PRINTED WITH SOY INK